



1月 給食だより

令和4年度

山梨市教育委員会

新年を迎え気持ちも新たに3学期が始まりました。学校では1月に学校給食週間があり、山梨県の郷土料理や特産物を食べ、食文化にふれたり、給食の時間に学校給食の歴史を学んだりします。給食だよりを親子で読みながら、昔の給食の話などをしてみてはいかがでしょうか。



1月24日～30日は
全国学校給食週間です

学校給食について知ろう!

日本の学校給食は1889(明治22)年、山形県鶴岡町(現・鶴岡市)にある大督寺というお寺の中に建てられた、忠愛小学校で始まったとされています。お坊さんが、いただいたお米や野菜、お金を使って貧しい家庭の子どもたちに食事を用意しました。その後、学校給食が子どもの栄養を改善する方法として国から奨励されると各地に広まっていきましたが、昭和になると戦争による食糧不足の影響で実施できなくなってしまいました。



明治 22 年ごろ	大正 12 年ごろ	昭和 17 年ごろ
おにぎり 塩ザケ 漬物	五色ごはん 栄養みそ汁	すいとんのみそ汁

支援物資による学校給食の再開

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946(昭和21)年にアメリカのLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。給食再開に感謝して、1950(昭和25)年度から、1月24～30日を「全国学校給食週間」と定められました。

昭和 22 年ごろ	昭和 27 年ごろ
ミルク(脱脂粉乳) トマトシチュー	コッペパン ミルク(脱脂粉乳) 鯨肉の竜田揚げ せん切りキャベツ ジャム

昭和25年に、アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の完全給食が始まりました。



学校給食は教育活動に



1954(昭和29)年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されることになりました。それから時代の移り変わりとともに、子どもたちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、学校給食の内容も変わっていきました。昔も今も変わらないのは、子どもの健康を第一に考えていることです。



昭和 40 年ごろ	昭和 51 年ごろ
ソフトめん ミートソース 牛乳 フライポテト 黄桃	カレーライス 牛乳 塩もみ ゆで卵

昭和30年代後半には脱脂粉乳のミルクが牛乳へと切り替わり、コッペパン以外のパンやソフトめんなど、主食の種類が増えていきました。米飯が正式に導入されたのは昭和51年のことです。